

**E12X-SUB**  
**マニュアル** (5.0 JP)

## 機器に表示されているマーク



操作マニュアルの情報を参照してください。



**WARNING!**  
**高電圧危険!**

## 目次

安全上の注意.....	3
ラウドスピーカーを使用する際の説明.....	3
<b>E12X-SUB.....</b>	<b>4</b>
接続.....	4
D6 または D12 との使用.....	5
E-PAC との使用.....	5
技術仕様.....	6
製造者宣言.....	<b>7</b>
ラウドスピーカーの EU 適合性（CE マークについて）.....	7
WEEE 宣言（廃棄について）.....	7

## 概説

### E12X-SUB マニュアル

Version 5.0 JP, 10/2009, D2073.JP .05

Copyright © 2009 by d&b audiotechnik GmbH; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH

Eugen-Adolff-Strasse 134, D-71522 Backnang, Germany

Telephone +49-7191-9669-0, Fax +49-7191-95 00 00

E-mail: docadmin@dbaudio.com, Internet: www.dbaudio.com

## 安全上の注意



### 警告!

#### ラウドスピーカーを使用する際の説明

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルとなる可能性があります。危険でないと思われる音量（約 95 dB の音圧レベルから）であっても、長期間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

ラウドスピーカーを地面に配置するか、吊り下げている時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください：

ラウドスピーカーまたはラウドスピーカースタンドのセットアップは、必ず堅い床面で行います。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。

組立てや移動式配置のためのアクセサリは、d&b でテストされ承認されたもののみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「ライティングシステムおよびリギングマニュアル」に詳細が記載されているようアクセサリの正しい使用法および最大積載量に注意を払って行ってください。

すべての追加ハードウェア、据付または移動配置用の固定および留め具が適当なサイズであることと安全積載係数を確かめます。ご使用になる製品の各メーカーの取扱指示書および関連の安全ガイドラインを確認してください。

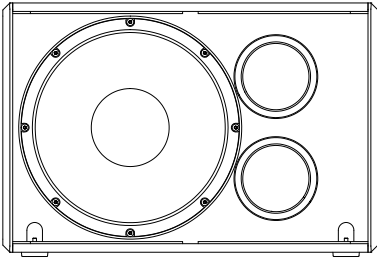
ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。

定期的に、取付装置の全ての荷重支持ボルトを点検してください。

### 注意!

ラウドスピーカーには、接続されていない場合や、使用されていない場合でも静的電磁場が発生しています。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損傷の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにいることを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

## E12X-SUB



E12X-SUB は、d&b E シリーズラウドスピーカーと組み合わせて使用する小型・軽量な高性能サブウーファーです。バスレフレックスエンクロージャーには、高偏位 12"ネオジウムドライバーを使用しています。

E12X-SUB には、パッシブクロスオーバーネットワークが内蔵されているため、E8 ラウドスピーカーと同じアンプチャンネルに並列接続することができ、システムの低域ヘッドルームや帯域幅を大きく拡張します。

またキャビネットの設定を何も変更することなく、専用のアンプチャンネルでアクティブ駆動することも可能です。アクティブモードの E12X-SUB はすべての E シリーズキャビネットと使用することができ、周波数特性は 45 Hz から 100/140 Hz に拡張されます。

E12X-SUB キャビネットは、船舶用合板製で、耐衝撃塗装仕上げが施されています。ラウドスピーカーのキャビネットのフロント部は、音響透過性発泡フォームの前にある堅い金属性グリルで保護されています。キャビネットは、両側面に 2 個のハンドルと上面に M20 のソケットを装備しており、E8 または他のフルレンジキャビネットを取り付けるための d&b Z5013 ラウドスピーカースタンドの取り付けが可能です。

4 個のゴム足は、キャビネットのずれを防止し、下面に傷がつかないように保護しています。各キャビネットの上面には、E12X-SUB をスタックする時にゴム足が入る凹みがあり、キャビネットのずれを防いでいます。

**注意:** E12X-SUB ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用方法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損害を与える恐れがあります。

### E12X-SUB キャビネットのオプション

キャビネットのオプションである SC バージョンは、キャビネットが RAL のカラーリストから指定された色に塗装されて提供されます。

コネクターは NL4 のみです。

耐候性バージョン (WR) の色は、黒のみです。直付けのインプットケーブルが付属します。(5 m / 16.4 ft, H-07-RN-F 2 x 2.5 mm2/AWG 13 タイプ)

### 接続

E12X-SUB のキャビネットには、一对の EP5 コネクターが取り付けられています。双方のコネクターの全 5 本のピンは並列に接続されています。E12X-SUB は、3/4 と 5 のピン配列を使用します。ピン 5 は SenseDrive に用いられます (D12 アンプと 5 ワイヤークーブル使用の場合のみ)。ピン 1/2 は、d&b フルレンジシステム用に使用されます。オス型コネクターをインプットとして使用すれば、メス型コネクターと追加ラウドスピーカーを直接接続することができます。

E12X-SUB は、オプションで NL4 コネクターを選択することも可能です。NL4 コネクターを使用している時には、D12 SenseDrive 機能は利用できません。

対応する EP5 のピン、NL4 コネクターおよび直付けケーブルのオプションは下記のリストにあります。

EP5	1	2	3	4	5
NL4	1+	1-	2+	2-	なし
直付けケーブル (PG)			茶色(+)	青色(-)	

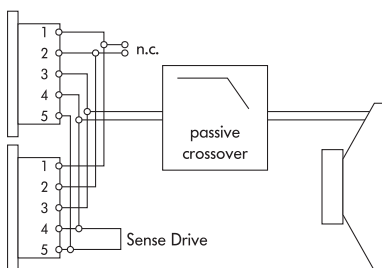


図 1: コネクターの接続

## D6 または D12 との使用

### E8 との並列接続のパッシブ駆動

E8 キャビネットが E12X-SUB ラウドスピーカーと組み合わせて同じチャンネルで使用されている時には、E8-X 設定を選択してください。E8 の標準設定と比べ、Xバージョンはこれらのシステムの複合周波数特性の補正専用です。これらにアクセスするために、D12 アンプは「デュアルチャンネル」に設定されていなければなりません。

#### 重要！

E8-X 設定を選択すると、D12 または D6 の各チャンネルで、E8 または E12X-SUB ラウドスピーカーを最大 3 台まで組み合わせて駆動することが可能です。

アプリケーションの連続レベルが低い場合や、周辺環境の温度が低い場合には、D12 チャンネルに最大 4 台のキャビネットを接続することもできます。

### アクティブ駆動

E12X-SUB をアクティブモードで駆動するためには E12-SUB 設定を選択します。システムのヘッドルームを増加するため、この場合は、ここでは E シリーズフルレンジキャビネットは CUT モードで使用しなければなりません。D12 アンプ内の E12-SUB 設定は、「デュアルチャンネル」と「Mix TOP/SUB モード」で選択できます。

#### 重要！

E12-SUB 設定を選択すれば、各チャンネルで最大 2 台の E12X-SUB ラウドスピーカーを駆動することが可能です。

アプリケーションの連続レベルが低い場合や、周辺環境の温度が低い場合には、D12 チャンネルに最大 3 台のキャビネットを接続することもできます。

サブウーファーに、SenseDrive を適用するためには、EP5 コネクタおよび 5 芯ケーブルを使用しなければなりません。「Mix TOP/SUB モード」で動作している時、サブウーファーは D12 アンプの出力 B コネクタから接続しないと SenseDrive は動作しません。

### コントローラーの設定

#### 140 Hz 回路

140 Hz 回路が選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 100 Hz から 140 Hz に上昇します。これはこの帯域で、システムのカップリングがさらにエネルギーを必要とする時、CUT モードの E シリーズキャビネットを補うために使用できます。

### E-PAC との使用

E12-SUB モードを選択すれば、E-PAC で 1 台の E12X-SUB ラウドスピーカーの駆動が可能になります。

音響調整には 140 Hz 設定が利用できます。140 Hz 設定の特性は、前項「D6 または D12 との使用」で説明されています。

## 技術仕様

### E12X-SUB システムデータ

周波数特性 (-5 dB 標準)	.....45 Hz ... 100 Hz
周波数特性 (-5 dB 140 Hz モード)	
D12 と使用した場合	.....45 Hz ... 140 Hz
最大音圧 (シングルキャビネット、1 m、無響音場)	.....127 dB
最大音圧 (シングルキャビネット、1 m、無響音場)	
D6 と使用した場合	.....124 dB
(最大 SPL ピーク、テスト信号クレストファクター 4 のピンクノイズ)	

### E12X-SUB サブウーファー

公称インピーダンス	.....8 Ω
許容入力 (RMS / ピーク 10 ms)	.....300/1600 W
コンポーネント	.....12" ドライバー
	.....パッシブクロスオーバー・ネットワーク
接続	.....2 x EP5
	.....オプション.....2 x NL4 (SC オプション含む)
ピン配列	.....EP5: 3/4、SenseDrive ピン 5
	.....NL4: 2+/2-
	.....直付けケーブル: 茶色 + / 青色 -
重量	.....18 kg (40 lb)

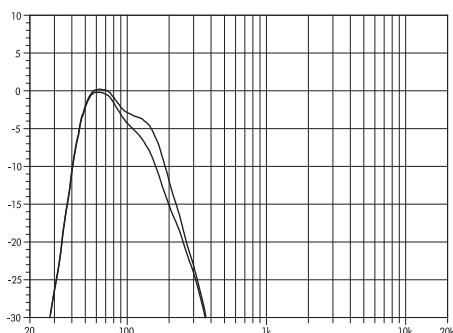


図 2: E12X-SUB 周波数特性、標準および 140 Hz 設定

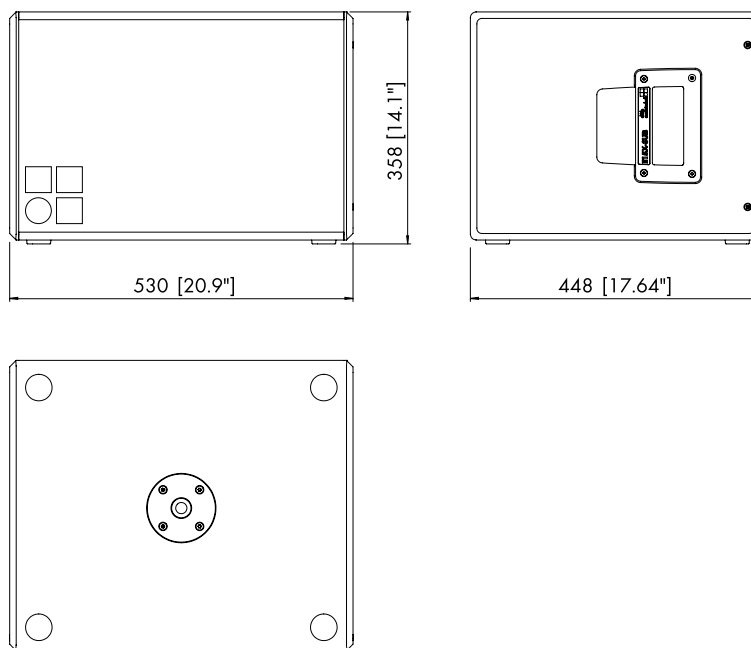


図 3: E12X-SUB キャビネットの寸法: 単位 mm [インチ]

## 製造者宣言



### ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

#### **E12X-SUB ラウドスピーカー, Z0210**

製造者 d&b audiotechnik GmbH

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト [www.dbaudio.com](http://www.dbaudio.com) からダウンロードすることもできます。

### WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。本機器を廃棄する時には、お住まいの国の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

